

# 県有施設等の再編方針について

再編対象施設の分析								【再編方針】	
施設名称	利用目的の親和性			ハード面の優先度		機能の整理	その他考慮事項		
	分類	主な利用形態	主な利用者	老朽化の状況等 ※築年数は令和元年11月時点		共有可能な施設機能 ※( )内は室数			
【本町第3分庁舎】 宮城県聴覚障害者情報センター (みみサボみやぎ)	福祉	・情報提供, 相談 ・研修	・聴覚障害者及びその家族 ・手話通訳者等	築年数 55年	・劣化の進行等に応じ, 修繕等をしている状況。	会議室・研修室(1) 相談室(1)	・現在の機能の維持, 安定的に運営できる場所の確保。 ・来所しやすい立地, 駐車場の確保等, 聴覚障害者への配慮が必要。	県庁周辺の県有地・県有建物, 福祉関係の外郭団体の土地・建物を含めて再編を検討する。	
東京エレクトロンホール宮城 (県民会館)	文化芸術	・コンサート, 演劇等の公演(鑑賞)	・一般県民 ・県外からの利用者	築年数 55年	・施設全体が老朽化し, 近年求められる設備となっていない。設備等の更新には多額の費用を要する。 ・利用者のアメニティが低いことも課題であり, 抜本的な対策が必要。	会議室・研修室(13) 展示室(2) 創作スペース(2)	・県民会館の整備に関する有識者会議の意見を踏まえ, 移転新築に向けた議論が進められている。	<b>《集約・複合化A案》 仙台医療センター跡地に集約・複合化</b>	
【榴ヶ岡分室庁舎(旧公文書館)】 宮城県民間非営利活動プラザ (みやぎNPOプラザ)	NPO活動	・情報提供, 相談 ・研修	・民間非営利活動団体 ・一般県民	築年数 52年	・屋上防水や外壁等の建物の寿命に直接関わる部分の劣化が著しく, 計画的な対応が必要であるほか, 一部設備の更新が必要。	会議室・研修室 (4)	・市民のボランティア活動をはじめとする自由な社会貢献活動を支援する施設。 ・県内各地から利用者が訪れることから, 駐車場の確保が必要。	<b>《集約・複合化A案》 仙台医療センター跡地に集約・複合化</b>	
【榴ヶ岡分室庁舎(旧公文書館)】 文化財課分室	庁舎等	・執務室, 保管庫	・県職員			—	—	・東北歴史博物館と近接していることが望ましい。 ・文化財課(県庁)との連絡の利便性も考慮する必要がある。	浮島収蔵庫(多賀城)の敷地の活用等を含めて, 移転に向けた検討を行う。
【榴ヶ岡分室庁舎(旧公文書館)】 宮城県婦人会館	生涯学習	・研修	・婦人会等の女性団体 ・一般県民			会議室・研修室(6)	・主な事業である研修のための室が必要。 ・保有している大型バスのための駐車場が必要。	<b>《集約・複合化B案》 現エスポールみやぎ(宮城県青年会館)敷地に集約・複合化</b>	
エスポールみやぎ (宮城県青年会館)	生涯学習	・研修 ・宿泊	・青少年団体 ・学校関係 ・一般県民(企業研修等)	築年数 42年	・建物躯体のひび割れや雨漏り跡, 基礎や床の一部に沈下が見られる。	会議室・研修室(10)	・多くの研修事業を行っていることから, 複数の研修室が必要。 ・宿泊機能の維持。 ・建物を所有する(一財)宮城県青年会館は建替えを視野に検討を進めている。	<b>《集約・複合化B案》 現エスポールみやぎ(宮城県青年会館)敷地に集約・複合化</b>	
宮城県母子・父子福祉センター	福祉	・情報提供, 相談 ・研修	・ひとり親及び寡婦, その子ども	築年数 39年	・外壁や屋上防水等, 建物の寿命に関わる部分の劣化が著しく, 計画的な対応が求められる。 ・建築当時の設備も多く, 更新が必要。 ・使用していない部屋が多くあり, 非効率な状況にある。	会議室・研修室 (3) 相談室(1)	・子ども連れで来所する利用者が多いため, 駐車場が必要。 ・相談業務についてはプライバシーの確保が必要。	<b>《集約・複合化B案》 現エスポールみやぎ(宮城県青年会館)敷地に集約・複合化</b> ※県庁周辺においてみみサボみやぎや福祉関係の外郭団体との集約も平行して検討	
宮城県第二総合運動場	スポーツ	・武道等のスポーツ, レジャー ・合宿所	・一般県民(武道愛好家, 文化スポーツサークル) ・学校関係(部活動)	築年数 38年 ※武道館	(武道館) ・一部の屋上防水の劣化への対応が必要であるほか, 一部設備の更新が必要。 ・バリアフリーへの対応が必要。	会議室・研修室(2)	・武道館以外に, 近的弓道場, 遠的弓道場, クライミングウォール, 合宿所あり。 ・近的弓道場, 遠的弓道場は築年数が若い(H11, H12築)。 ・宮城野原には, 宮城野原公園総合運動場がある。	当面, 必要な修繕更新を行いながら, 現状を維持しつつ, 県有体育施設としての整備の在り方を含め, 方向性を再検討する。	
宮城県美術館	文化芸術	・美術品の展示(鑑賞) ・美術品の収集, 保存 ・教育普及	・一般県民 ・県外からの利用者 ・学校関係	築年数 38年 ※本館	(本館) ・建物内外, 設備共に老朽化しており更新が必要。収蔵庫が狭隘化している。 ・バリアフリー化, ユニバーサルデザインの導入等, 誰もが利用しやすい施設にするための対応が必要。	展示室(2) ※県民ギャラリー ホール(1) ※講堂	・移転する場合は佐藤忠良記念館も合わせて移転する必要がある。 ・平成30年3月に「宮城県美術館リニューアル基本方針」を策定している。 ・美術館の特殊性を考慮する必要がある。	<b>《集約・複合化A案》 仙台医療センター跡地に集約・複合化</b>	
多賀城分庁舎	庁舎等	・執務室, 保管庫	・団体職員 ・県職員	築年数 36年	・屋上防水等の劣化への対応, 空調設備をはじめとする設備の全面更新が必要。	—	・現在13団体が使用中。 ・敷地内に, 車庫4棟, 無線局舎等あり。	当面, 必要な修繕更新を行いながら, 現状を維持しつつ, 今後, 県の利活用の見込みや修繕更新等にかかる費用等を勘案し, 建物自体の取扱いを検討する。	
商工振興センター	庁舎等	・執務室	・団体職員	築年数 31年	・衛生設備等に劣化が見られるほか, 一部設備の更新が必要。	—	・県の持分は約2割に過ぎないことから, 再整備には他の所有者との調整が必要。 ・再整備に当たっては, 県庁との距離も考慮する必要がある。	当面, 必要な修繕更新を行い, 現状を維持しつつ, 関係団体の意向も確認しながら, 再編により生じる跡地等の利活用を含めて移転等について検討する。	
みやぎ若年者就職支援センター (みやぎジョブカフェ)	労働・雇用	・情報提供, 相談 ・研修	・一般県民 (主に15~44歳)	—	・施設が手狭であり, 賃料も高い状況。	—	・仙台新卒応援ハローワーク(宮城労働局)との併設が望ましい。 ・より多くの参加者が利用できる会議室があるとよい。 ・外国人材等のニーズの広がりにも対応する必要がある。	当面, 現状を維持しながら, 再編により生じる跡地等の利活用等を含めて, 移転等について検討する。	